

久米島のあれこれ

旧暦と伝統行事

久米島の伝統行事は、旧暦（太陰暦）を元に執り行われます。従って、年によって行事の月日が変わってきます。代表的な行事としては、次のようなものがあります。

○トゥシビー（生年祝）

旧暦1月2日～13日。生まれ年と同じ干支の年に、無病息災を祈願する行事。

○ジュウルクニチ（十六日祭）

旧暦1月16日。あの世のお正月とも言われ、親族総出で行う供養です。

墓参りして重箱などをお供えします。

○シーミー（清明祭）

旧暦3月頃から行われる先祖供養で、ジュウルクニチと同様、重箱料理を用意し、親族で供養します。

○旧盆

旧暦7月13日～15日。ウンケー（お迎え）、ナカヌヒー（中日）、ウークイ（お送り）の計3日をかけて各家庭で行われる先祖供養です。地域によっては、エイサーも行われます。

冠婚葬祭

○結婚式

沖縄の結婚式は賑やかで、数百人規模で開催することが一般的です。

余興に力が入ることでも有名。ご祝儀の相場は1万円ほどです。

○葬式

香典の金額は関係やご年齢にもよりますが千円を目安。服装は、男性は喪服用のかりゆしウェアと黒いスラックス。女性は、七分丈の喪服用ワンピースなどが一般的です。（久米島町女性会がチラシや広報くめじまで千円を提唱し、一般的となっています）



マナー

○ウタキ（御嶽）

神女が祭祀を執り行う神聖な場所です。島内でも各所にあります。御嶽を荒らさないようにしましょう。

○草刈り、庭掃除

草刈りや落ち葉掃き、庭掃除はこまめに行うようにしましょう。

○沖縄独特のことば

沖縄言葉には本土出身者にはわかりづらい微かなニュアンスがあります。例えば、「おじい」「おばあ」といった言葉は、失礼に当たる場合もあり、注意が必要です。

模合（もあい）

「毎月メンバーが集まり、決まった金額を出し合い欲しい人から順番に受け取る」という仕組み。本土における頼母子講・無尽講に相当する相互扶助システムが起源とされています。集会に合わせて飲み会をするのが一般的で、ゲスト参加もよくあります。仲良くなった方からお誘いがかかるかも？